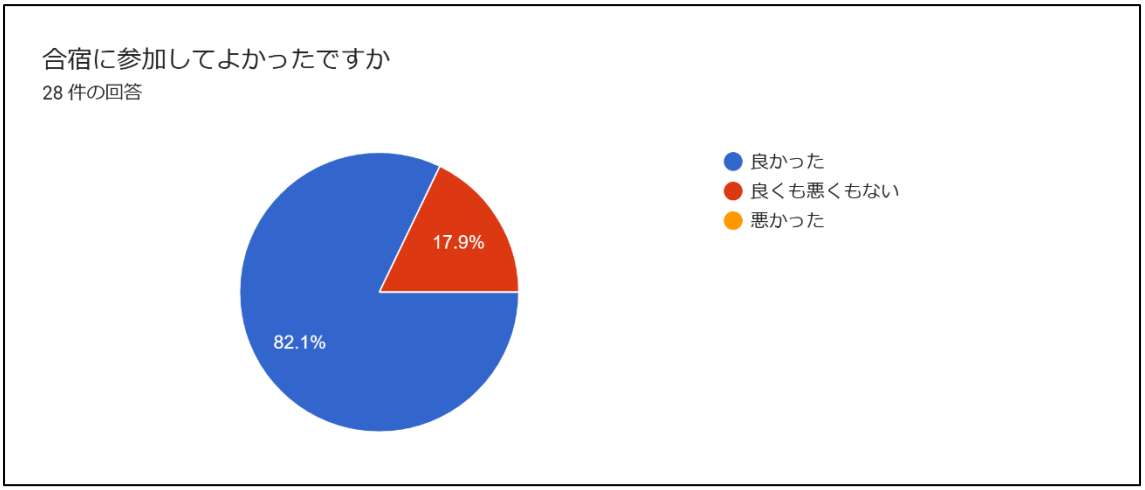
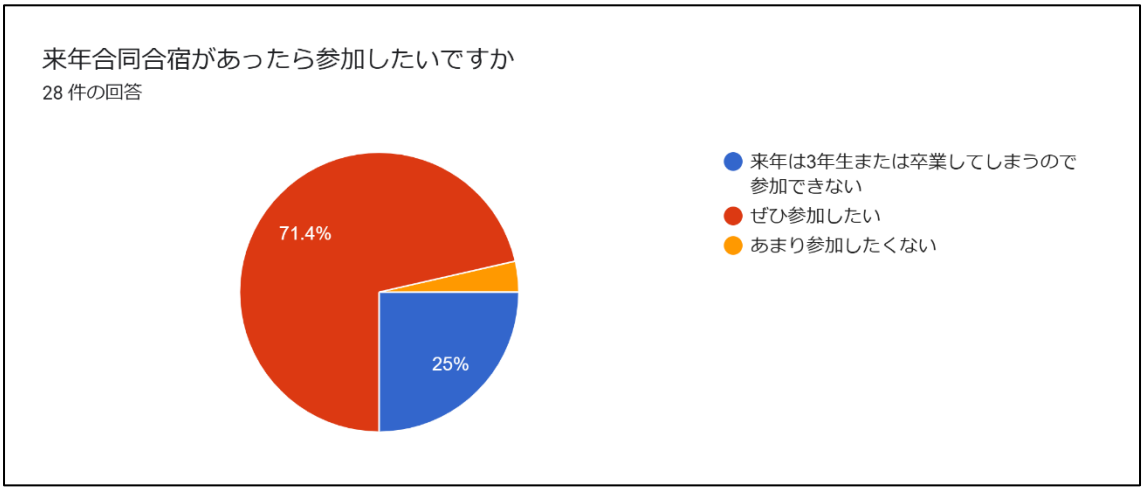
チームアライグマ　夏合宿アンケート2024. 8. 6－8　大滝プラザ

参加校:大宮　川越女子　熊谷西　越谷北　蕨

アンケートの回答は２８名（生徒参加者３６名）

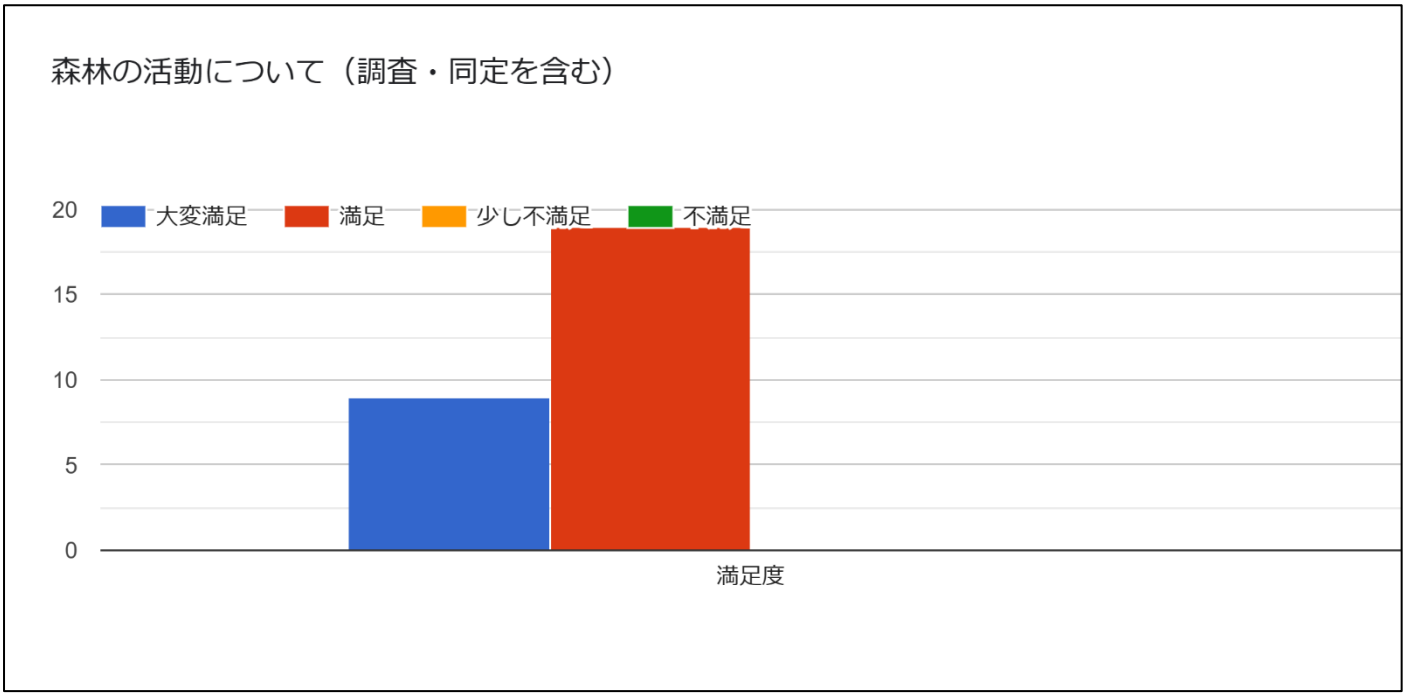




Q　参加したい理由・参加したくない理由

自分で動植物の同定ができるようになりたい。
鳥などの動物を見ることが出来なかった。
普段できないような活動ができたから。
自分があまり詳しくなかった植物や昆虫類について理解を深められたから。
日常ではあまり見ない生き物が見れたから。
今年学ぶことを活かして、来年のほうが楽しく調査できそうだから。
今回の合宿で、今まで見たことの無いような虫を見つけられるなど新しい発見が多くあったため大きなやりがいを感じたから。
今年と来年の植物や生物の違いを見たいから。楽しかったから。見たことのない生き物をたくさん見れたから。
雨が降らない合宿を経験してみたいから
3 日間だけでもたくさんのことが学べて面白いから
また新たな経験をしたいから。
自分が今まで実際には見たことが無かった生き物が、この 3 日間で沢山見られたから。また、新しい知識を多く得られたから。
普段見られない動植物が見られて他校と交流できるから

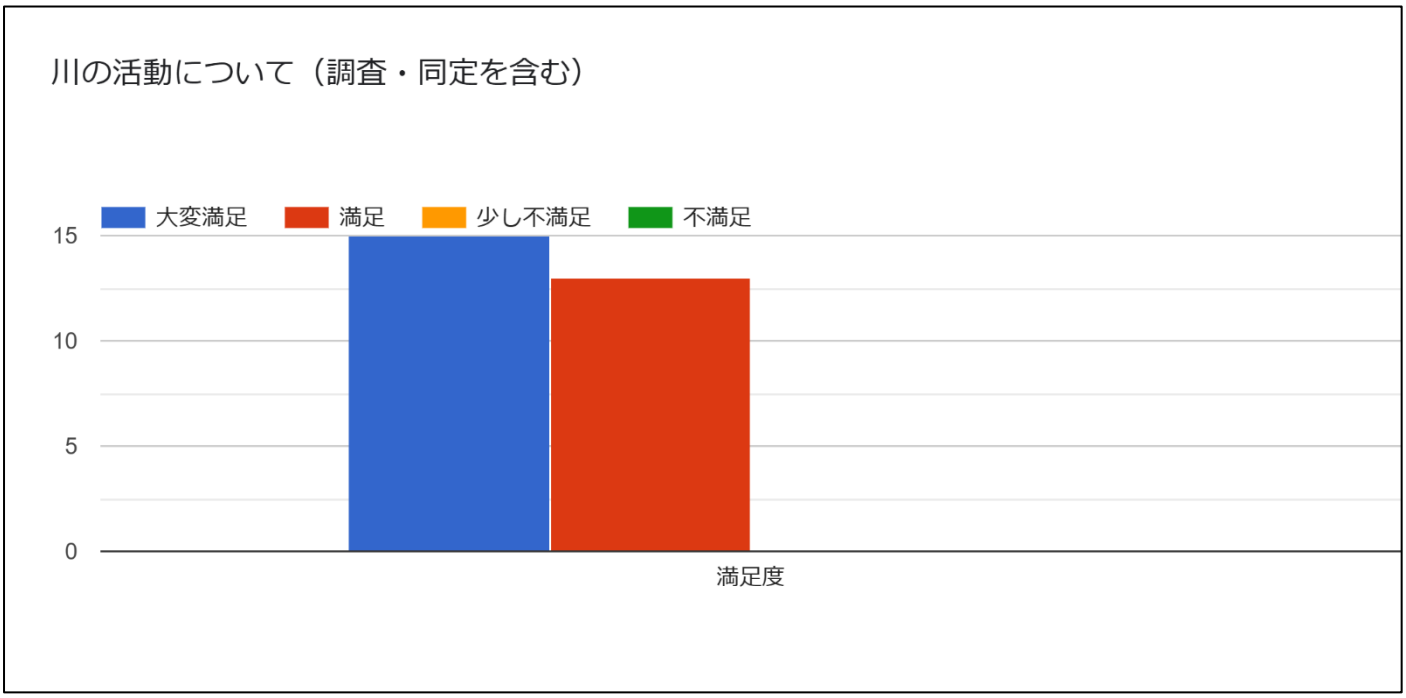
あまり宿泊での学習の機会が無いから
今まで詳しく見たことがなかった生物や、知らなかった知識を得ることができて面白かったのと、同じ趣味を持った人たちと話すことができて楽しかったから。
さらにチームアライグマの生徒皆で,生物の知識を高めていきたいから次回合宿がある時はまた参加していきたいです。
生物に関する知識を実際に観察したりすることで身につけることができたから
したことのない経験ができて、楽しかったから。
秩父のような大自然に触れることがないため、触れることができてよかったと思うから
楽しかったから
チーアラならではの活動ができたことが良かったから。また、来年こそはネズミトラップを成功させたいとも思ったから。
自分の手を動かしながら体験したことによって知識を深められたから。



Q　森林の調査で印象に残っていること

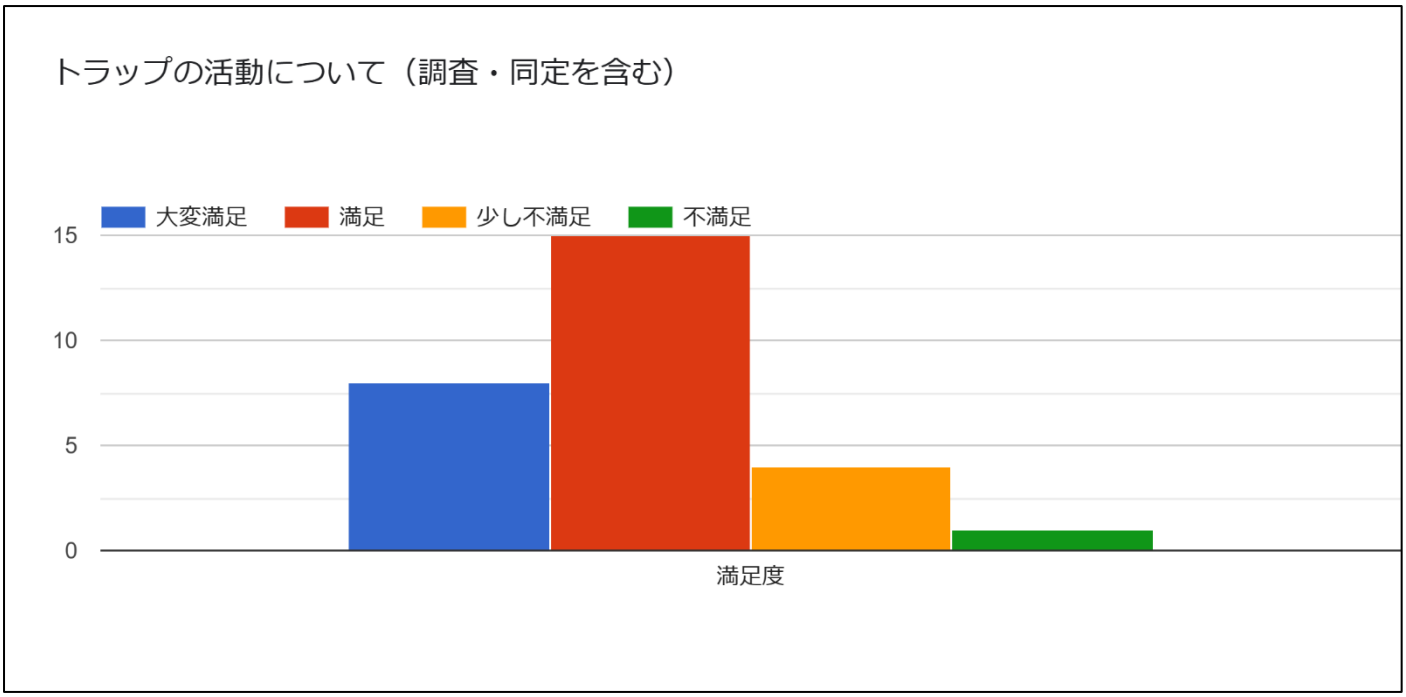
蜂
友人が蜂に刺されたこと
様々な種類の木の同定を通し科ごとの特徴や、特徴的な木本の特徴を知ることが出来た。また、室内での同定により葉の特徴から樹種を推定できるようになった後にもう一度森林に行くことにより、樹皮も覚えることが出来た。木のことも興味が出てきた！
そのあとの同定が大変だったこと。
二股に別れた木は、以前切られたことがある ということを知ったこと。
コドラートを作って木を調べたこと。
しっかりとした？コドラート調査は初めてやったので良い経験になりました。また今まで植物に注目したことがなく、植物同定の時間は自分の知らない多くの木を知る機会になり、楽しかったです。
植生で、実際にどのくらい前から自然の状態なのかを考察することができるとわかったこと。
朝起きたらすぐに森林に行って調査を確かめるのがとても新鮮だった。

今までは木は木だなと思って見ていたが、それぞれ特徴があって面白いなと感じた。まだ全然覚えられていないが、葉だけでなく幹やどこに生えているのかどんな実を付けるのかなどもっと詳しく知ってみたいと思った。
データ化することで人の手が加わっているかいないかわかったしまい、それがいつ頃なのかも予想できてしまうこと
決められた範囲内の木を測って、木の種類や特徴を記録することでその森がどんな森かわかることが印象的だった。
今まで気にしたことのないような樹木を同定し、コドラート内の分布を調べることは面白かった。
木々の違いを見分けるのが難しかったこと。
木の直径を表やグラフにまとめることによって、その森林がどんな環境なのかを知ることが出来る、ということが興味深く、他所の森林でも行ってみたいと思った。
普段見ないセンチコガネなどを見たこと。植物からその土地の起こったことを推測したこと。
ハチが出たこと
木の高さや太さを調べて、森林の成り立ちを考察したこと。
樹木の同定調査は大変でしたが,その分自身の成長を実感できたので良かったです。
植物の同定に慣れたこと。
タマゴタケ
植生を知ることができたこと
植物の同定が大変でした。
葉の同定が難しかったこと
植物の葉の同定をした際、一見するとほとんど同じに見える葉が、実際は違う種類であるということが多くあった。想像以上に植物の種類が豊富だと気付いた。
チームの皆で協力して樹木の種類や特徴などを調べたこと。



Q 川の調査で印象に残っていること

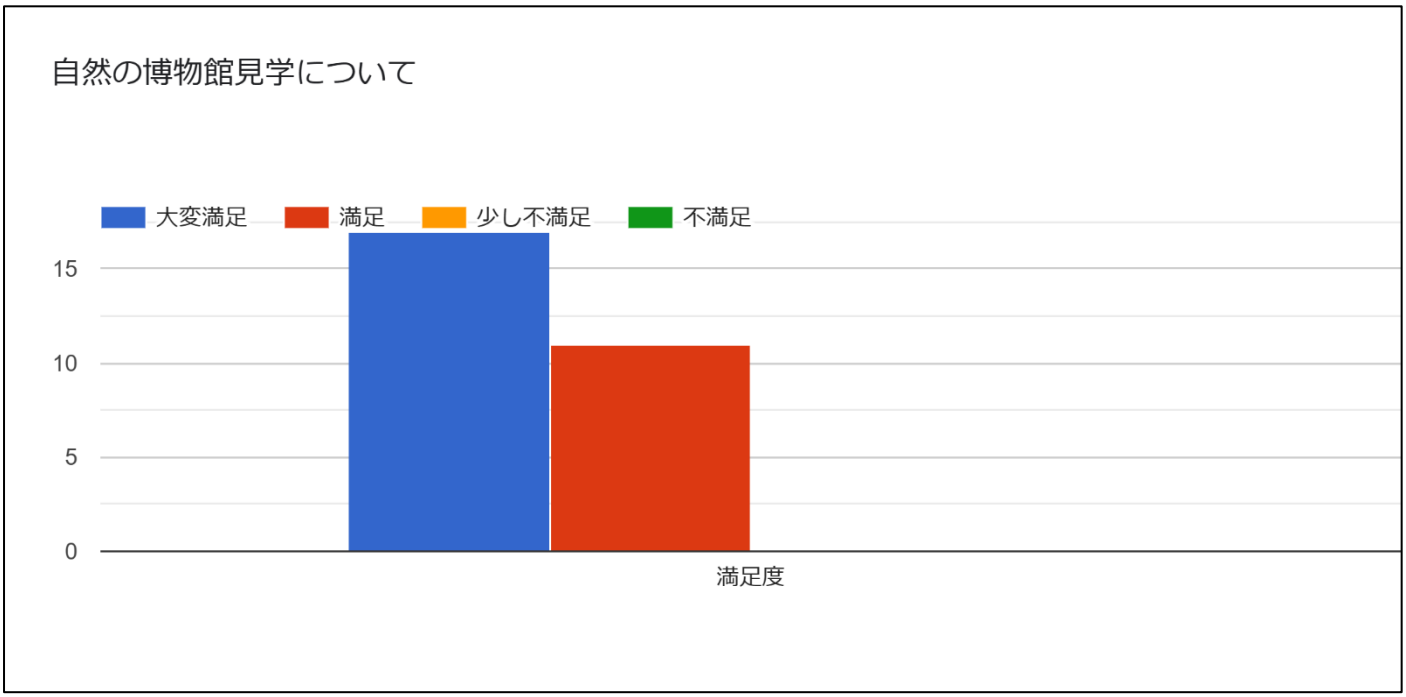
中流の調査をした時にヒルが沢山いたこと。
様々な種類の水生昆虫がとれたこと
同定がとても難しかったが、川には色々な種類の生き物がいることを再確認できた。
長瀞でたくさんエビがとれたこと。
中流はヒルが多い印象だった
大きめのヘビトンボの幼虫が見れたこと。
骨を見つけました。というのはさておいて、普段見ることのない、また見てもゲンゴロウやカメムシの仲間に気を取られて気にすることのない水生昆虫を沢山見れてよかったです。途中で紛失してしまったものの、自分はヘビトンボを二種取ったので楽しかったです。
住んでいる生き物によって、川のきれいさがわかること。同定が葉よりもわかりやすかった。
岩場など、人の手が施されていなさそうなところだったため虫がとても多く飛んでいたこと。
岩をひっくり返すとこんなにもたくさんの水生昆虫がいるのかと感動した。このような川を残していきたいと思った。似ている種が多く同定は難しかった。トビケラは小さな体で一生懸命に家を作っているのだと知り驚いたし、壊してしまうのだ申し訳ないくらい立派だった。プラナリアを生で見てみたかったので嬉しかった。ただ、アメリカツノウズムシが多くナミウズムシは多くの子が食べられてしまい、分けておくべきだったと反省した。
カゲトンボなどの水生昆虫はカゲトンボでも数多くの種類が存在し、見分けがつかないものも存在するということ
とても自然に囲まれていて水が綺麗な気がした。しかし、流れが急なところが多くあまりエビなどの淀んだところにいる生物は見られなかった。
エビがあまり取れなかったが今まで見てきた水生昆虫の名前を知ることができたのは楽しかったです。
ヘビトンボの幼虫がとても採れたこと。
石をめくるだけでこんなに生き物がいるのだと衝撃を受けた。カゲロウやカワゲラの同定が難しかったが、見分けるポイントを知られたのは良かった。
川の上流、中流では見つけられた生物が全然違ったこと。
アメンボを捕獲したこと
専用の網を使って普段下流では見れないようなカゲロウやトビゲラが採れたこと。
水生昆虫は他の調査と比べて行う機会があまりなかったので,水生昆虫の知識を高める良い機会となりました。
ヒルらしきものが採れたこと。
水生昆虫の多さ
川にいる虫の幼虫などを観察できたこと
岩の裏や、草で影になっているところに生物が多くいた。
川が綺麗だった
水生生物の同定
いつも部活ではエビを採っているが、今回は水生昆虫を中心に採り、特にカワゲラの種類の多さに驚いた。
普段の活動では注目していなかった水生昆虫を捕まえて同定できたこと。



Q トラップの活動で印象に残っていること

ネズミが掴もうとすると激しく暴れたこと。
ネズミが 2 匹いたこと
雨によりほとんど生き物が取れなかった。他の高校がそれぞれ別の種類のネズミを捕まえていて、それぞれの種類の特徴を比較できた。
ネズミが取れたこと。
自分達の班がとったネズミが箱の中で跳ね回ってたこと
ネズミを捕まえたこと。
あれほどの数のトラップを仕掛けて成果がナガゴミムシとエサキオサムシ数匹だけではかなりつまらないものになってしまっていたので、もし今後開催する場合はより下草のある環境や、河畔林などのゴミムシ、オサムシの好むような環境で行って欲しい。また、山中でハネカクシやセンチコガネを数匹採集したもののトラップにはかかってなかったので、トラップの方も工夫すればより多くの虫が手に入ると思う。ライトトラップは途中霧が出たりしたものの、山奥で初めて行い、様々な種類の蛾を見れたので満足です。また、ネズミに関しても実際に合宿中二度かかっていたので見れて満足しました。
ねずみが、意外と宿舎の近くで捕獲されたこと。
森林にトラップを設置する時に結構な高さまで登って仕掛けていても大きな虫が取れず、残念だったためあと 1 度くらいリベンジしたかった。
もっと沢山の昆虫が入っていると思ったので少し残念だった。落ちてしまった子は辛い夜だっただろうなと思った。 アリはツルツルのカップを自由に歩けていて何故かと思った。吸盤で登っているらしい。そんなようには見えないので驚いた。
ーか八かで使用したカロリーメイト(チョコ)で、アカネズミを捉えることができたということ、そこで逃した時に地中に巣穴があるというのがわかったこと
簡単にできるトラップで虫やネズミをとることができることに驚きました。
アカネズミがかかったこと。
本当にネズミや、地表徘徊性甲虫などが採れると知り、もっと多様な環境にトラップを仕掛けて採れる生物の比較をしてみたいと思った。ネズミがお菓子などではなく、ハムスターの餌で採れたことが意外だった。

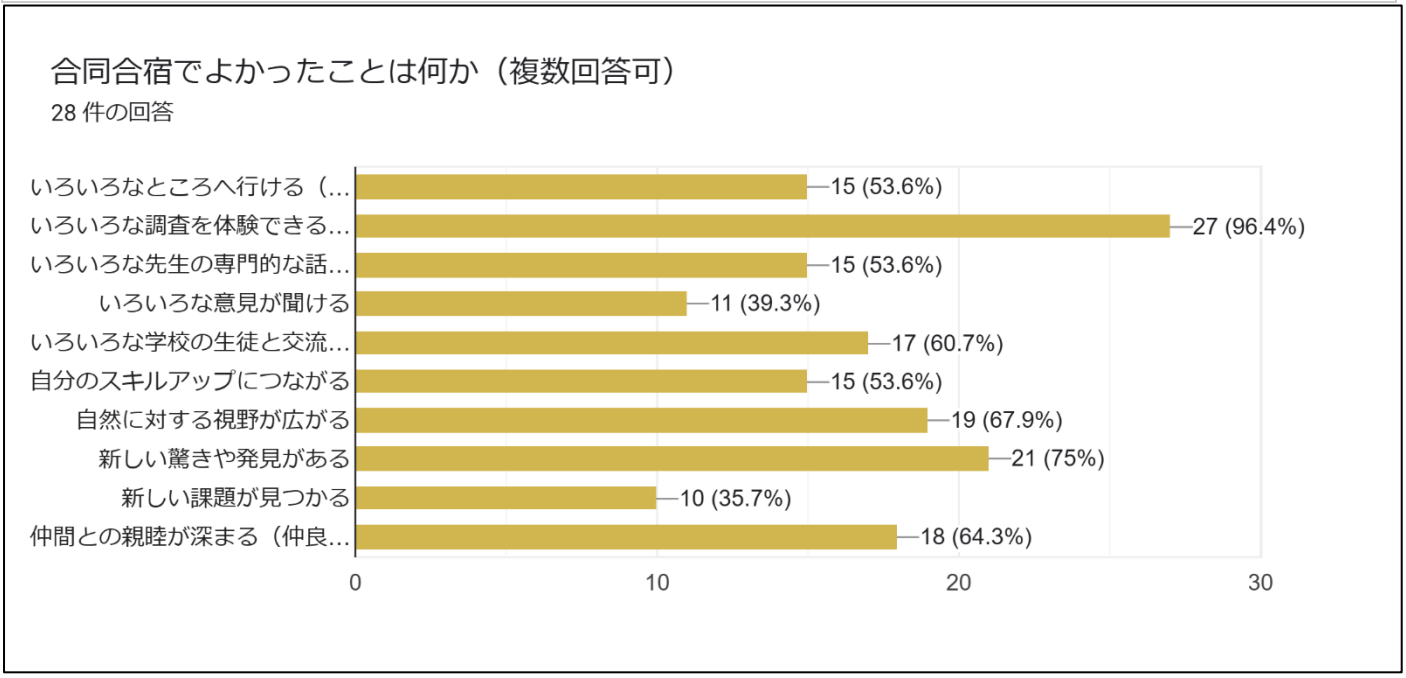
カロリーメイトの罠にネズミが入っていたこと。窓を開けただけでアリがベイトトラップに入ったこと。
オオセンチコガネ
ネズミが居そうな場所を考えて、狙った場所に置いたトラップにネズミが入ったこと。
ネズミトラップでカロリーメイトで捕まえられたのは面白かったです。ネズミの住処の近くに置けたからなのかはっきりとはしなかったのですが,ネズミがカロリーメイトに食べているようすには癒やされました。
一匹もネズミを捕獲出来なかったこと。
アカネズミの大きさ
ネズミが入っていたこと
あまり虫をとれなかったが、ネズミを初めて見れた。
初めて生でネズミを見たこと
ネズミがとれていたこと
結局は自分の学校が置いたトラップにはかからなかったが、ネズミの気持ちになって置き場所を考えることがなかなか楽しかった。
取りたい生物の特徴や場所の条件を考えて仕掛けないといけないことを知り、トラップの難しさを感じたこと。

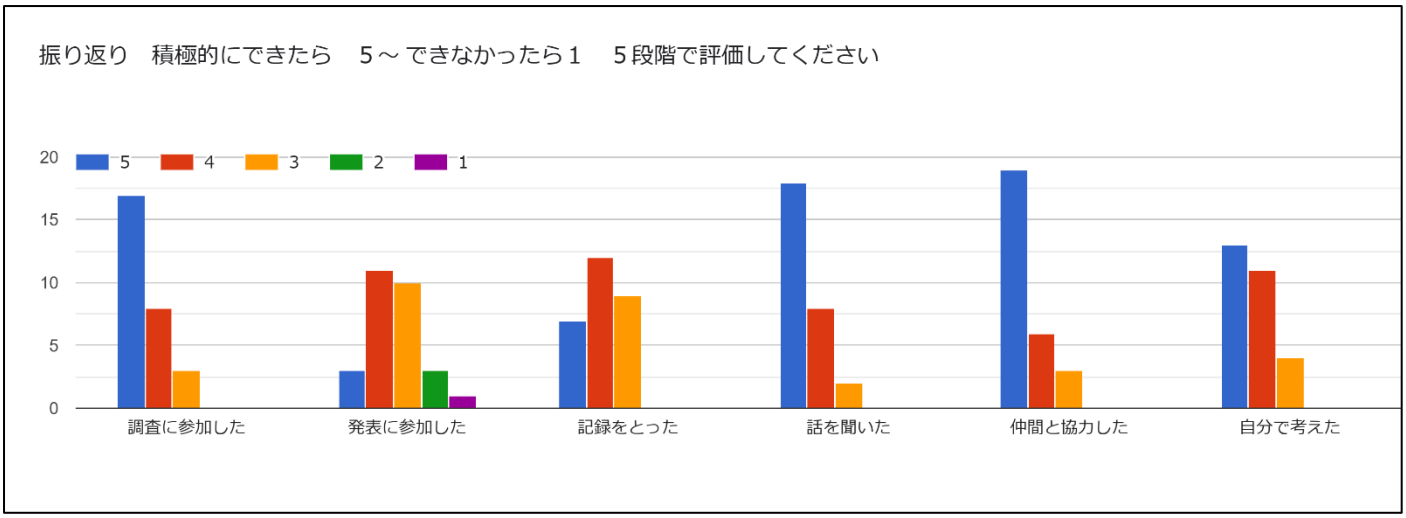


Q　自然の博物館見学で印象に残っていること

石の展示
色んな動物の模型があったこと
一度小学生の頃に行ったことがありそのときは一瞬で回れたが、改めて知識を付けた状態かつ、知識のある友人と一緒に回ると時間が全く足りなかった。友人の知識の深さを再確認でき、自分の興味の幅も広がった。また、自分の知識の誤りや新たな知識の発展にも繋がり、とても勉強になった。楽しかった！
チーアラのパネルがあったこと。
獲物を枝に刺しとく鳥
標本のマルタンヤンマの複眼や、体の色が綺麗に残っていたこと。できればやり方を知りたかった。
剥製に触ることができて、毛並みはきれいだけど、少し毛がかたかったこと。

大きな恐竜のような模型が、アザラシのように地を這うような可愛らしい手をしていて面白いと思った。
動物の標本の展示の仕方が良かった。自然な感じがしたし、鳴き声も聞けて、場所も分かってすごかった。 金は塊で取れるものだと思っていたので、糸状の金もあることを見て驚いた。
展示されている標本をみて姿形が似ている昆虫の違いがはっきりわかったということ
くまなどの剥製をさわれたこと。また、ツヤハダゴマダラカミキリの在来種との見分けポイントが詳しく載っていてとても勉強になった。
秩父には様々な鉱物があり、全国的にも珍しいものが多いこと。
森林内を模した展示で普段見ることのできない鳥を見れたこと。
環境別に生き物の剥製が置かれていたこと。また、特別展示で外来生物について詳しく見られたこと。改めて外来種がどんな影響を及ぼしているのかを見直せた。
シラコバトも外来生物だったこと。
外来生物の展示
剥製に実際に手で触れて毛の質感を感じれたこと。
建物が小さくても展示物の量と標本やジオラマ、クイズなど館内を楽しめる事が沢山あったので埼玉の自然環境を知っていくのにとても素晴らしい場所だと思います。私はじっくり館内を巡りましたが、ゆっくり巡っていくと全ての展示物を深く知ることが出来るのもここの素晴らしい点だと考えます。
鉱石
メガロドンの歯を見ることができたこと
チームアライグマの活動が取り上げられていて、嬉しかった。外来種について知ることができた。
チーアラの活動が掲載されていたこと
動物の剥製(?)
剥製を多く見られたことが楽しかった。タヌキの剥製に触ることができて嬉しかった。
合宿で得た知識の復習ができたこと。





Q　合宿を通して、どんな発見や学びがありましたか

自分は生物に関する知識が他の人と比べて乏しいため、少しでも調査や同定といったことをできるようになってよかった。
様々な植物や虫について知ることが出来た
モチノキ科の植物の葉に黒い斑点がある特徴や、木に短枝と呼ばれる古い葉っぱが生えていた枝が残ってできた器官があること。アオハダはその器官が特徴的であることなどの木本植物の様々な特徴について知ることができた。そして、林床に殆ど草が生えていないのは鹿が原因であることを知り、生態系のバランスが崩れた結果の一つの例を肌で感じることが出来た。友人と博物館に行ったことで、様々な感性の人がいて、自分の知らない鉱物や、昆虫についての多くの知識を知ることができた。
森や川と言っても、その中にはたくさんの樹や水生昆虫がいて、生態系が保たれると感じました。
水生昆虫について、カゲロウの仲間は尾が2本ならヒラタカゲロウであることが多いとわかった
げんきプラザ周辺の森林の生態系や、大まかな出来事が調査をして得られた。樹木の種類を見分ける際のポイントや、コツが得られた。
同定をするときに見るポイントや、参考にしている本の注目するポイントが以前よりもわかるようになりました。
空気が涼しく、水は澄んでいて、森も手入れがされていて、見たことない生き物がたくさんいて、とても良い環境なので、これを残していかなくてはという気持ちが強くなった。 こんなに自然が多いところでも、外来の植物や動物がいるので危機感も覚えた。 一人では見つけるにも作業するにも時間がかかるが、集団で行動をすることで、効率が格段に上がることを実感した。
植物の同定については全く知識がなかったのですが今回の調査で同定するときのポイントを理解することができたのでよかったです。
樹木や水生昆虫の専門的な知識をえることや、森の遷移についてより深く理解することなどができました。
樹木の同定をして、また新たな種類の樹木を知ることができた。 人が手を加えた森林はそこから荒れないようにこまめに木を切ったり、するなどの管理が大切だと知った。
自分が今まで体験してこなかっただけで、山にはこんなにもたくさんの生き物が生活しているのだと、当たり前のことですが非常に感心しました。私は半分昆虫を見る目的で合宿に参加したのですが、木の同定作業が思っていた以上に面白く、道端に生えている木でも興味深く観察するようになりました。
今までよりも植物のことに詳しくなれた。
トラップの作り方
普段あまり気にしていなかったり、見ることができなかった植物や川の生物についても、フィールドワークや同定作業を通して前より詳しくなることができた。また、ベイトトラップのやり方を知ることができたので、自分の学校でもやってみたいと思った。
合宿を通して始めて会う仲間たちと協力すると一見とても過酷のように見えるスケジュールもスムーズに楽しく行えたので良かったです。
植物の見分け方や図鑑の引き方を知ることができた

生物に関する知識を実際に観察したりすることができた
植物は種類によって成長する速さが違うことで同じ時間に切っても木の高さがだいぶ変わること。
今までどの生物も「カエデ」「カワゲラ」「ネズミ」などとしか認識できていなかったが、「イロハカエデ」「カミムラカワゲラ」「アカネズミ」など、具体的な名称を知ることによって、生物の多様さを学ぶことができた。
図鑑や資料使ってはいたが、自分の力でわからない種を特定していくことの楽しさを知った。また、見た目が似ていても違う種であったり、よく見るとその生物特有のものがあったりして、生き物の多様さやおもしろさを身を持って感じることができた。

Q　感想

得られたことは上に書いたことで、楽しかったことは他校の人との会話が普段できないため楽しかった。
ネズミを見ることが出来て良かった。
木の同定がとても楽しかった！色々な種類の木の特徴を知ることが出来た！思わず来年の合宿はどんなことをするんだろうと、合宿に行けない身なのに自分は行く前提で想像してしまった！
川での水生昆虫調べが面白かったです。エビだけではなく、いつもは見れないようなものを見れて、自分のスキルアップにも繋がったと思います。
樹木の同定で、普段自分が住んでるところでは見ない植物について学べて楽しかった
寝れま 10 シリーズが楽しかった。仲間と協力して同定作業をし、色々な視点を見つけることができた。
少し不満の残るところはありましたが、全体として自分の普段見ない生き物を見ることができたのでかなり満足です。特に水生生物の調査では、返した石から多くの昆虫が見つかり、とても楽しかったです。
普段はあまり知ることができない、植物や昆虫についてしれたことが新鮮で面白かったです。
森林が今どのような状況かを実際に目で見て考えるのはあまりない経験だったため、インターネットが繋がらない中みんなが持っている知識、感覚のみに頼り考察をするということがとても新鮮で楽しかったです。
とにかく景色が美しかったのが良かった。他校の人と活動するのは緊張したが一緒に同定したり山に入ったりすることで楽しくなっていった。
トラップを仕掛ける上でどのような環境が捕まりやすいのか対照実験を行い考えること、植物や水生昆虫がどのような種類のどの生物なのかを自分たちで調べることができ楽しかった
川の調査で都幾川の時よりも多くの種類の水生昆虫に出会えたのでよかったです。また、ある程度見分けがつくようになったので良い経験になりました。
普段体験しないようないろいろなことを体験できて、視野が広がった。生きているネズミを生でみたことがなかったので、とても可愛かった。
樹木の同定が楽しかったです。これから登下校などで見つけた樹木がなんなのかを見て行けたら面白いかなと思いました。
川の調査が普段では見られない水性生物を見ることができて楽しかった。 また、夜のライトトラップや網戸に多くの蛾やカミキリムシが集まっていることに驚いた。樹木の種類を同定するのはとても難しかったが、葉の特徴や生え方を元に根気強く調べることが大切だと知った。
川の水生昆虫採集が楽しかったです。川の流れの速さによって採れる昆虫が変わることを実感できたことが良かったです。
普段山奥には行かないから、図鑑でしか見たことのない昆虫をみれたことが楽しかった。この合宿で植物の同定をして植物の面白さを知って区別の仕方も学べたことが一番得たものの中で大きいと思う。
初めて見る環境や調査方法に触れ、体験したことが楽しかったです
合宿を通して、自分と同じような趣味を持った人たちと一緒にフィールドワークや採集、同定をすることができて、とても面白く、楽しかった。同定作業は複数人で行うと、自分が知らないことを知っている人がいたり飽きにくいので、一人でやるより楽しく、捗った。

水生昆虫調査と博物館の見学が自分の大きな欠点を補うことが出来,楽しめる事ができたのでそこが大きな収穫でした。
植物の同定を通して、植物に深い知見が得られた。
普段できない広い自然の中での調査が楽しかった
普段はやることがない川での調査や森林の調査が楽しかった
普段、私が経験しないような体験(森林調査や水生昆虫の同定)をできて、楽しかった。知らなかったことを知れてよかった。また、他校の人とも同じ学校の人ともいつもの部活以上に関われて仲が深まった。
他校の方々やと関わり合えるのや、自分の学校の人たちともっと仲良くなれたことが嬉しかったです。植物の同定が私にとっては難しく、もっと手際用できればなぁと思いました。
植物や、生き物の同定が楽しかったです
いつもの部活では主に川での調査をしているためか、合宿の山での調査は新鮮で面白いものに感じた。
チームでの協力活動や同定に没頭したことが楽しかった。普段の活動ではあまり着目することのない植物や水生昆虫について知れたことがいい経験になった。 色々な場面で自分の知識不足を感じたので、来年はもっと生き物について詳しく知った状態で合宿に参加したい。

Q　運営上の改善点があればお願いします

海の生き物も調査してみたいです。 また、虫以外の動物も観察したいです。
木の同定と毎木調査を続けて欲しいです！
河畔林でベイトトラップを仕掛けて欲しいです。あるいは山の中の沢とか…あれだけの成果とはせっかく山地まで行ったのに少し勿体無いです…
もし宿舎の中にもWiFiがあれば、班内や学校間での情報共有もよりスムーズにできたのかなと合宿中思うことが多くあったため、WiFi設備があればぜひ設置していただきたいです。
ご飯が美味しかったです。整った施設を貸して頂きありがとうございました。先生方、知らないことをたくさん教えて頂きありがとうございました。来年もよければ宜しくお願いします。
また川の調査をしたい。
ネズミのトラップをまた仕掛けてみたい。
WiFiが繋がるところが良い(連絡が取れない)
来年は参加できないが、今年のような活動が良いと思う
しおりをもっと早く配っていただきたいです。